【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2008-246799(P2008-246799A)
【公開日】平成20年10月16日(2008.10.16)
【年通号数】公開・登録公報2008-041
【出願番号】特願2007-89869(P2007-89869)
【国際特許分類】
*Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)*
*Ｂ０５Ｃ　5/00　(2006.01)*
*Ｂ０５Ｃ　11/10　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０１Ｚ
Ｂ０５Ｃ　5/00　１０１
Ｂ０５Ｃ　11/10

【手続補正書】
【提出日】平成21年12月18日(2009.12.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
装置本体と、液体を噴射するノズル開口が設けられた液体噴射ヘッドと、複数の液体噴射ヘッドを相対的に位置決めした状態で保持すると共に前記液体噴射ヘッドが被記録媒体に液体を塗布する塗布領域と該塗布領域以外の非塗布領域とに移動自在に設けられたキャリッジとを具備する液体噴射装置であって、
前記装置本体の前記非塗布領域には、前記液体噴射ヘッドの前記ノズル開口が開口する液体噴射面に設けられたアライメントマークを撮像する撮像手段と、前記キャリッジに対して各前記液体噴射ヘッドを前記液体噴射面の面方向に移動させて、複数の液体噴射ヘッドの相対的な位置を調整する調整手段とを具備する調整装置が設けられていることを特徴とする液体噴射装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
上記課題を解決する本発明の態様は、装置本体と、液体を噴射するノズル開口が設けられた液体噴射ヘッドと、複数の液体噴射ヘッドを相対的に位置決めした状態で保持すると共に前記液体噴射ヘッドが被記録媒体に液体を塗布する塗布領域と該塗布領域以外の非塗布領域とに移動自在に設けられたキャリッジとを具備する液体噴射装置であって、前記装置本体の前記非塗布領域には、前記液体噴射ヘッドの前記ノズル開口が開口する液体噴射面に設けられたアライメントマークを撮像する撮像手段と、前記キャリッジに対して各前記液体噴射ヘッドを前記液体噴射面の面方向に移動させて、複数の液体噴射ヘッドの相対的な位置を調整する調整手段とを具備する調整装置が設けられていることを特徴とする液体噴射装置にある。
かかる態様では、調整装置による複数の液体噴射ヘッドの相対的な位置合わせを、液体

噴射ヘッドを搭載したキャリッジを装置本体から取り外すことなく行うことができるため、キャリッジを装置本体に位置合わせする必要がなく、高精度に行えると共に、短時間で且つ作業効率を向上することができる。